

## 兵庫県

- 兵庫県の年間商品販売額は卸売業の5割強、  
小売業の3割強を神戸市が占める -

兵庫県の事業所数をみると、卸売業の38.2%、小売業の29.5%が神戸市に集中しています。年間商品販売額をみると卸売業の52.2%、小売業の32.7%を神戸市が占め、次いで、卸売業、小売業ともに姫路市、尼崎市、西宮市の順となっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が40%近くと高くなっており、次いで、住宅地区となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が45.2%と最も高くなっています。

卸売販売品目をみると、「食肉」、「酒類」などが上位に入っています。

### 1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

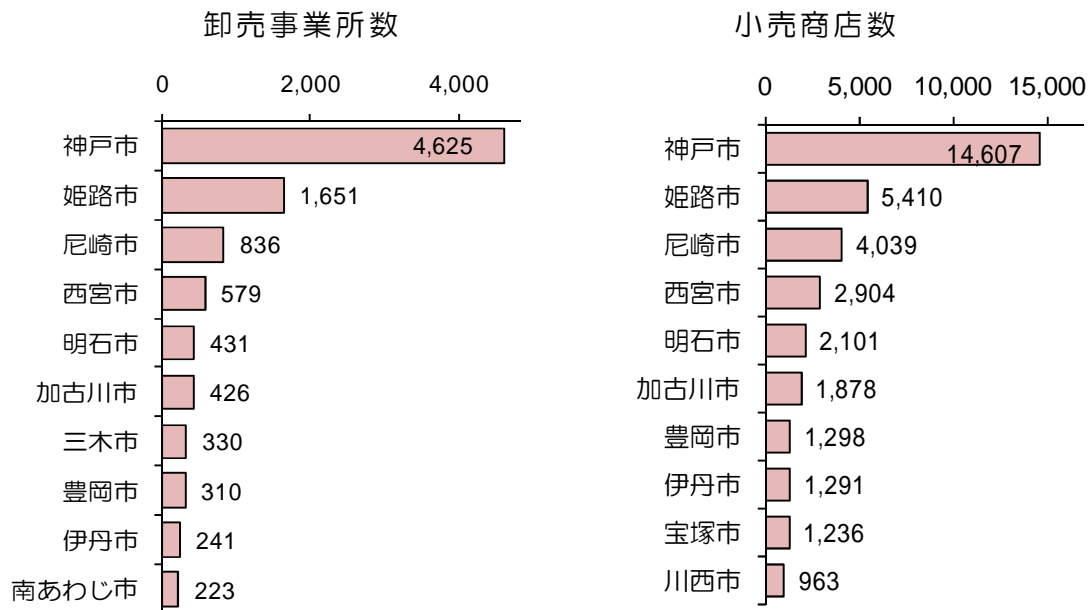
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
兵庫県計	61,597	6	464,678	8	13,269,264	8	
卸売業計	12,094	7	110,782	8	7,781,958	10	
業種別	各種商品卸売業	40	7	476	7	33,320	10
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	168	6	1,101	6	51,927	8
	衣服・身の回り品卸売業	761	7	8,656	5	589,738	4
	農畜産物・水産物卸売業	1,568	5	15,909	7	1,282,095	7
	食料・飲料卸売業	1,365	8	14,651	7	1,169,827	8
	建築材料卸売業	1,446	8	9,968	8	529,875	12
	化学製品卸売業	493	7	3,600	9	222,973	12
	鉱物・金属材料卸売業	528	8	5,118	10	528,190	14
	再生資源卸売業	340	8	2,511	7	148,031	7
	一般機械器具卸売業	1,002	10	8,705	8	619,153	10
	自動車卸売業	650	8	6,252	9	427,446	10
	電気機械器具卸売業	575	9	6,396	10	574,781	13
	その他の機械器具卸売業	377	8	3,443	9	225,137	9
	家具・建具・じゅう器等卸売業	474	7	3,315	8	145,341	8
	医薬品・化粧品等卸売業	540	8	7,194	8	578,726	9
	他に分類されない卸売業	1,767	5	13,487	8	655,398	11
	小売業計	49,503	5	353,896	8	5,487,306	8
	各種商品小売業	189	7	40,884	6	702,599	7
	織物・衣服・身の回り品小売業	8,427	4	34,405	5	461,364	5
	飲食料品小売業	16,082	6	137,145	8	1,733,203	8
自動車・自転車小売業	3,470	6	20,818	9	603,861	8	
家具・じゅう器・機械器具小売業	4,220	5	21,980	6	493,823	7	
その他小売業	17,115	5	98,664	7	1,492,456	8	
医薬品・化粧品小売業	3,621	6	21,514	6	331,477	8	
農耕用品小売業	454	8	2,230	5	42,293	14	
燃料小売業	1,839	10	12,531	9	437,800	10	
書籍・文房具小売業	2,163	5	25,073	6	182,568	7	
スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	1,319	5	7,184	7	112,714	7	
写真機・写真材料小売業	157	4	623	4	6,584	6	
時計・眼鏡・光学機械小売業	895	6	3,234	8	39,938	6	
他に分類されない小売業	6,667	4	26,275	6	339,082	8	

## 2. 市町村別の状況

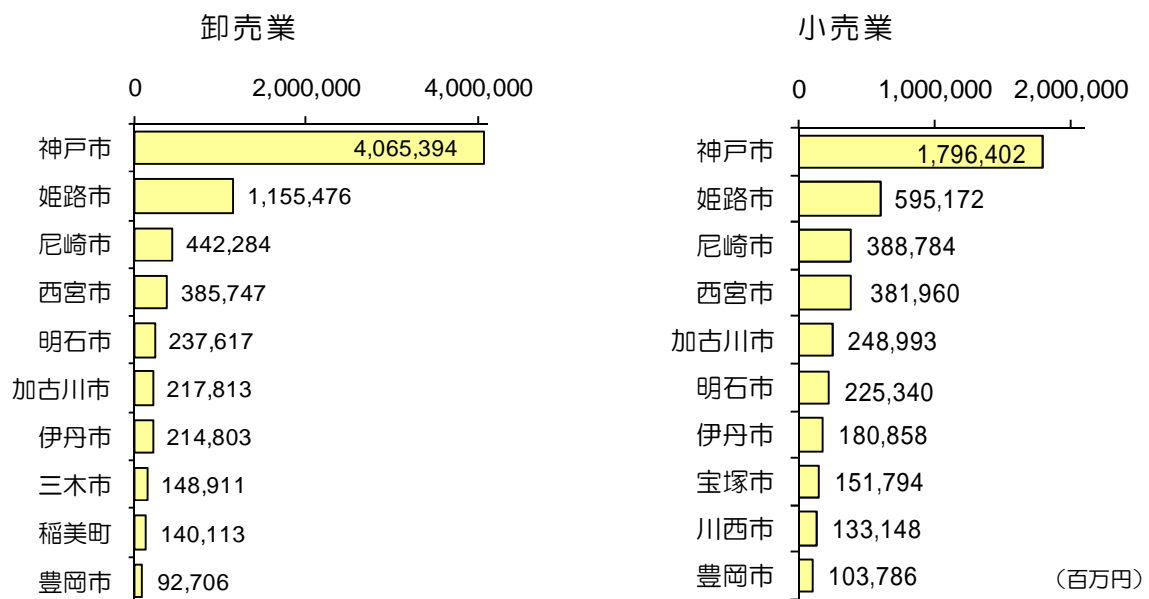
兵庫県の事業所数をみると、卸売事業所の38.2%、小売商店の29.5%を神戸市が占め、次いで、卸売業、小売業ともに姫路市、尼崎市、西宮市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の52.2%、小売業の32.7%を神戸市が占め、次いで、卸売業、小売業ともに姫路市、尼崎市、西宮市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

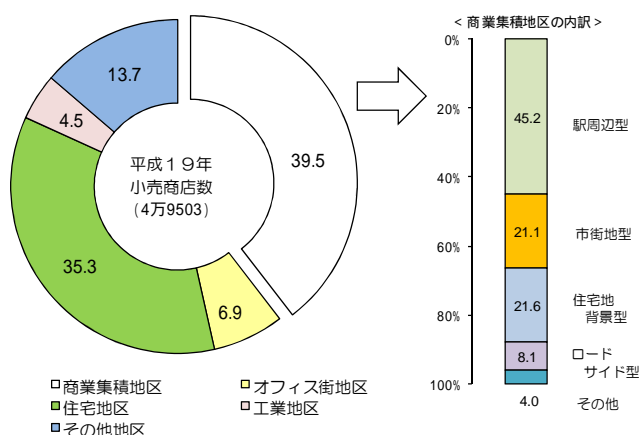


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



### 3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が39.5%と最も高く、次いで、住宅地区が35.3%となっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が45.2%で最も高く、住宅地背景型と市街地型が20%を超えてほぼ同じ割合となっています。



	19年商店数	対14年比 (%)
小売業計	49,503	10.8
商業集積地区	19,562	13.3
駅周辺型	8,833	12.1
市街地型	4,124	18.1
住宅地背景型	4,232	18.0
ロードサイド型	1,594	13.9
その他	779	14.7
オフィス街地区	3,433	3.8
住宅地区	17,499	13.3
工業地区	2,219	4.3
その他地区	6,790	4.8

### 4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」が1位となったほか、「生鮮魚介」、「食肉」、「婦人・子供服」、「酒類」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

